

湖南圏域 2025 年医療福祉推進協議会ワーキング

ワーキング 実施の狙い

南部地域医療福祉ビジョンの推進に向けた
圏域の一体的な取組みの検討・提案を、
2025 年協議会に向けて行う。

- ・「南部地域医療福祉ビジョン」の推進に関する圏域の各会議や団体の取組みが俯瞰ふかんできるような情報収集・分析
- ・今後の取組を一体的に進めていくための検討・提案

今年度のテーマは「健康づくり」

中間評価で確認された今後の取組み

- ◆ 住民が楽しみながら主体的・継続的に取り組むことができる環境づくり
- ◆ 働き盛り世代に向けた取組み（特に糖尿病予防・重症化予防）



今後の取組みを
踏まえた
検討・提案

ここまでの 取組進捗

多職種・多業種が集まり、ここまで3回の会議を実施。
経験談を交えて意見交換を重ねながら、
一体的な取組みの方向性について、下記の点等を確認した。

■ 会議の開催実績とテーマ

第1回（11月2日開催）

- ・ 県・4市の健康づくりに関する資料・データの共有
- ・ 各々の職場の現状について経験談を交えた情報共有

第2回（12月17日開催）

- ・ 取組内容のアイデア出し

第3回（1月9日開催）

- ・ 2025年に向けた圏域での一体的な取組みの方向性について意見交換

■ ここまでの会議の実施を通して確認した主な事項

- ・ データをみると湖南圏域では「運動」に関する値が良い一方で「食生活」に関する値が悪いが、食生活を気にするきっかけと運動を始めるきっかけは連動するのではないか
- ・ 圏域のデータをただ引用して訴えるのではなく、健康づくりを意識する行動を促す「スイッチ」を押すきっかけを、身近なところから創出する必要があるのではないか
- ・ 職場・友人・家族といった、小さなコミュニティからすぐ試せることを始めていき、広げていくことが大切ではないか
- ・ 「気づき」と「記録」をキーワードに、すぐに実践しあえるアイデアを圏域で出し合い、「誰と」「どこで」「何が」できるのかを示した事例集をまとめてみてはどうか

次回ワーキング（2月中旬開催予定）で、これら確認しあったことを踏まえ、
2025年に向けて圏域で一体的に進めていくための提案を取りまとめ、
2025年協議会第3回会議にて報告する予定

ワーキングメンバー（敬称略）

衛藤 信之

一般社団法人守山野洲医師会

村杉 紀明

一般社団法人びわこ薬剤師会

伊波 早苗

社会医療法人誠光会 草津総合病院

小川 義三

湖南ブロック介護支援専門員連絡協議会

田内 孝宜

Porto Consulting（中小企業診断士）

林 正隆

株式会社しがトコ（地域メディア編集者）

清水 葉子

草津市健康福祉部 健康増進課

犬丸 智則

守山市健康福祉部 長寿政策課

濱 恵理

栗東市子ども・健康部 健康増進課

宇野 裕子

野洲市健康福祉部 健康推進課